

早生種りんご山選果基準会



各地区の青果センターは8月23日、早生種りんごの中心品種「サンつがる」の山選果基準会を開きました。

山形りんごセンターで開いた山選果基準会には、生産者約20人が参加。黒石青果センターの職員は「着色が進んだものから収穫する。山選果をする際は、配布している入庫情報を確認し、病害虫などに気を付けてほしい」と呼び掛けました。



選果基準について説明する職員(左)



刈取適期を確認する生産者

「青天の霹靂」適期刈取講習会



9月2日、平賀地区と常盤地区で県のブランド米「青天の霹靂」の刈取講習会を開きました。平賀地区の講習会には生産者約20人が参加し、刈取適期を確認しました。

中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室の普及指導員が講師を務め「出穂後積算気温による刈取適期の目安は900から1100度で、刈取期間を確認する。田んぼ1枚ごとの収穫適期が分かるブランド米生産支援システム『青天ナビ』(リモートセンシング)を活用して、刈取適期を確認して作業を行ってほしい」と呼び掛けました。

などわのコーン販売開始



直売所あつぷるはうすで、8月上旬からとうもろこし「などわのコーン」の販売が始まりました。

などわのコーンは、黒石市沖揚平地区で栽培されたとうもろこしで、同地区は標高約750mの高原地帯であり、昼夜の気温差が大きい高冷地野菜の産地です。果皮は白粒と黄粒でぎゅーりと覆われて色鮮やかなので味と見た目を楽しむことができます。

「などわ」は、津軽弁で「あなたと私」という意味。早朝に収穫したその日に直売所へ出荷されるので、新鮮で柔らかく甘みが強いのが特徴です。



店頭に並んだ「などわのコーン」

